

2011年3月31日発行

## ③ 議会中断

3月11日(金)の午後、共産党の工藤さんの一般質問の最中にあの地震が来ました。普通の揺れではなかったので、外に出た方がいい!」と議場のドアを真っ先に開けました。ドアが閉まっては脱出できなくなると思ったからです。市役所の旧庁舎は耐震工事が行われてませんから、外に出た方が安全です。そのまま緊急災害対策会議が開かれ、議会は中断。閉会となりました。そして14日(月)に代表者会議が開かれ、一般質問をそのまま終了とし、22日、23日の二日間(出来れば一日)で3月議会を終わらせることが決まったのです。日本中が緊急事態なので、当たり前と言えば当たりのことですが、こんなことになるとは思っていませんでした。

## ③ こんな時こそ

こんな時こそ、住民からの反対が多い都市計画道路、保谷朝霞線などの建設は取りやめにして、その財源を被災地の復興に回すべきだと思います。東北の被災地の再建には莫大な資材と時間がかかるでしょう。コンクリート人も食糧も水もまずは被災地へ送らねばなりません。我々にできることは我慢することです。少しの不便をみんな我慢することで、被災地の復興を応援できるのなら、みんな喜んで我慢するのではないのでしょうか。今回の議会の最終日、語る会たかむらは予算への反対討論で、こう言いました。観光新座などを行っている場合ではない。箱物を造っている場合ではない。住民が7割も反対するような計画道路を造っている場合ではない。」と被災地の様子が分かれば、分かる程、何とかせねば!と思うようになりました。新座市は今月の31日から4月一杯まで被災者・避難者の受け入れ(100名)を決めました。支援は長期化するでしょう。長い目で、市としてできることを考えねばなりません。そして、僕達自身も”できることをやる”ことが必要なのです。来月早々にも東北への支援活動を開始する積りです。



五中の卒業式に行きました。34回目の卒業式でした。第一期生の卒業式から33年。我が塾の子ども達(五中の教え子の子ども達)も卒業です。

## たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。教育を語らせたら、止まらない男」です。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、突然教師になる決意を

する。7年から理科の教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。04年初当選。どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。黒目川川づくり懇談会」代表。新座五中・六中の男女硬式テニス部を率いて、県大会は50回以上、関東大会5回、全国大会2回優勝。学級通信「一生懸命」を20年間発行し続ける。NHKの「おはよう広場」、最近では「インターネットテレビ」に出演。議員日記は7年と1ヶ月毎日更新。アクセスは14万3千回を超える。小中高生と先生・保護者の生の声を聞きながら、日々教育を考え「観光新座ではなく、教育新座」を訴えている。ご感想・ご意見をお待ちしています。たかやん

たかやんの応援団 で 検索